

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



第202号 2021年3月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



「わら巻き」に入る小動物を調べました



針葉樹にわらを巻きました

1月31日にビジターセンター行事「冬の昆虫観察会」を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染状況から残念ながら中止しました。楽しみにされていた方々、申し訳ございませんでした。

本来なら当日はスギなどの針葉樹に巻いてあるわらを外して、わらの中にどんな小動物が隠れているかを調べる予定でした。

このわらは、10月にこの行事のために巻いたものです。

「わら巻き」は昆虫やクモなどの小動物が身を隠すため樹皮の下に潜り込む習性を利用したものです。小動物の種類や個体数を定期的(ビジターセンターでは毎年)に調べることで、環境の変化を調べる目安になります。

わらの中には、小型のクモやカメムシ(写真中央上)、ゴキブリ(写真右下)などが隠れていました。

他のわらには他の種類の小動物がいるかもしれませんね。



わらの中に隠れていた小動物

菜の花が咲きだしました



2月24日撮影

センターの西側にある畑の花が咲きだしました。3月中旬には満開になりそうです。今年は苗の成長がよく、また密集していますので、例年以上に華やかに咲くと予想されます。

センターだより1月号でもお知らせしましたが、この菜の花畑はセンターの西にある「とんぼ茶屋」さんの畑です。観賞用ではなく商品となる菜種油を採るために植えているものです。

来られる方は必ず以下のことを守ってください。

- 1 道路には駐車・駐輪、停車をしないでください。
- 2 観賞や写真撮影をするときは、車や歩行者の通行の邪魔にならないようにしましょう。
* 三脚を使用するときには周りの方への心遣いをお忘れなく。
- 3 畑の中に入らないでください。また、花は摘まないでください。
- 4 所有者や地元の方に迷惑をかける行為をしないようにしましょう。
- 5 その他、誰もが楽しめるよう、ルールとマナーを意識した言動をお願いします。

3月末には春のトンボが羽化します。

今月の末にはベッコウトンボをはじめ、春に羽化するトンボが飛び始めます。

昨年、ベッコウトンボの最初の羽化が確認されたのは3月24日でした。その後開催されたベッコウトンボ調査会で確認された数は、23頭と危機的な数でした（ここ数年は、100頭程度）。原因は猛暑や春先の寒さ、冬季の沼の水位の低下、クロスジギンヤンマのヤゴによる捕食、等々が複合的に影響したと考えられています。



ベッコウトンボ養殖用のコンテナ

昨年8月、ベッコウトンボの数を増やすため、また、種の保全のために甌塚にあるコンテナの一部を整備しました。その後、コンテナ内へベッコウトンボのヤゴを移植し、他のトンボが産卵したり他の動物が入ったりしないように網をかけました。現在順調にヤゴが育っています。今後、毎年この作業を繰り返すことでベッコウトンボの数が増え、将来的には桶ヶ谷沼自体から多くのベッコウトンボが羽化するようになることを期待しています。



新規採用職員研修での作業の様子

また、12月に磐田市役所の今年度新規採用職員と甌塚のコンテナ整備作業を行いました。作業内容は、コンテナ内に生えている植物の株を持ち上げ、鎌で半分に切りコンテナ内の水面を広げることでした。こうすることで多くのトンボが産卵しやすく、ヤゴが成長しやすい環境を作ることができます。この作業によって、甌塚では例年以上に多くのトンボが飛び交うことになるでしょう。磐田市役所新規採用職員の皆さんありがとうございました。

春に羽化するトンボたち



ベッコウトンボ



ヨツボシトンボ



アジアイトトンボ

お知らせ「ビジターセンター展の開催について」

3月2日（火）から31日（水）まで「桶ヶ谷沼ビジターセンター展」を例年通り開催します。以下の展示・企画を計画しています。

- 1 桶ヶ谷沼の歴史
- 2 桶ヶ谷沼に関する書籍
- 3 桶ヶ谷沼に生息する動植物の写真
- 4 竜洋昆虫自然観察公園とのコラボ企画
- 5 トンボに関するクイズ など

菜の花も咲いています。是非ご来館ください。